

# PORTFOLIO

FOR INTERIOR DESIGN

原 由吏

# 提唱者

INFJ-A

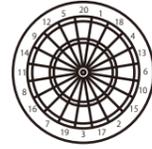


生まれ 2000.12.31  
出身 埼玉県  
名前 原 由吏 (はら ゆうり)

## 好きなこと



音楽



ダーツ



YouTube



読書



旅行

東京デザイナー学院でインテリアデザインについて学んでいます、原 由吏です。幼い頃から部屋の模様替えが好きで、よく自分の部屋を替えていました。その時の自分の気分だったりライフスタイルに合わせて模様替えすることにより、生活しやすくなったり気分を変える事ができました。インテリアが好きで絵を描いたり図を書いたり、ものづくりをしたり自分だけの何かを作り出す事が好きなので、インテリアデザインという業界が自分に会っていると感じ、東京デザイナー学院で学んでいます。

## 歩み

2019.3月 埼玉県立杉戸高等学校 卒業  
2019.4月 日本工業大学 機械工学科 入学  
2020.7月 日本工業大学 機械工学科 中途退学  
2023.4月 専門学校東京デザイナー学院 入学  
2025.3月 専門学校東京デザイナー学院 卒業予定



トレーラーハウス

Page01/02

土間のある空間

Page03/04

デッサン

Page05/06

# 目次

部分模型

Page07/08

小屋模型

Page09/10

ポर्टレート

Page11/12

紙立体

Page13/14



透和

トレーラーハウス

未来へと繋ぐ古き良きもの



トレーラーハウス開発株式会社との産学連携プロジェクトでデザインした作品です。入学後最初の課題でした。テーマは「未来」です。  
 未来型だから新しいものを作るというのではなく、伝統的なものをより良く未来へ繋ぐことをイメージして考えました。たくさんの国、地域の伝統的なものを多くの人に知っていただき、未来へと残していきたいと思います。「移動式」ということを活かして様々な場所で他国の伝統文化を体感できるようにします。今回は日本の伝統的な「和空間」を体感できるようにしました。

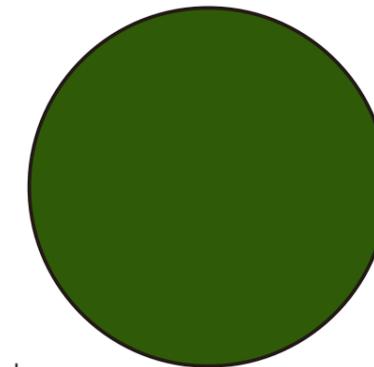
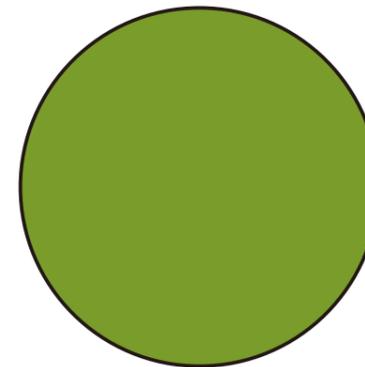
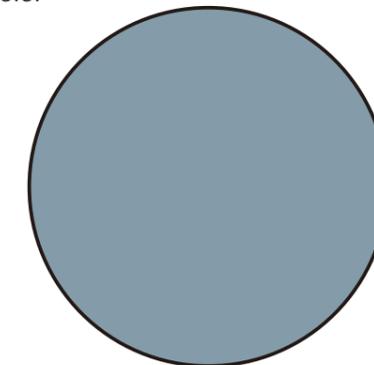
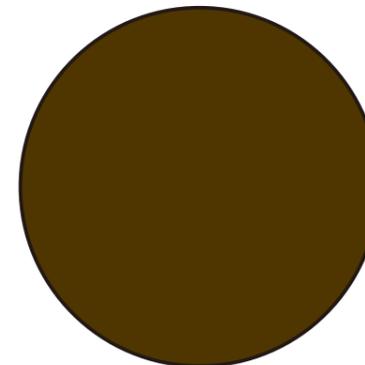


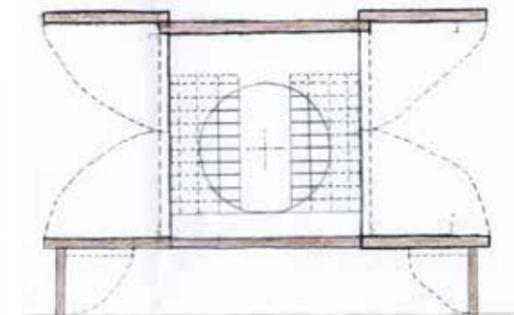
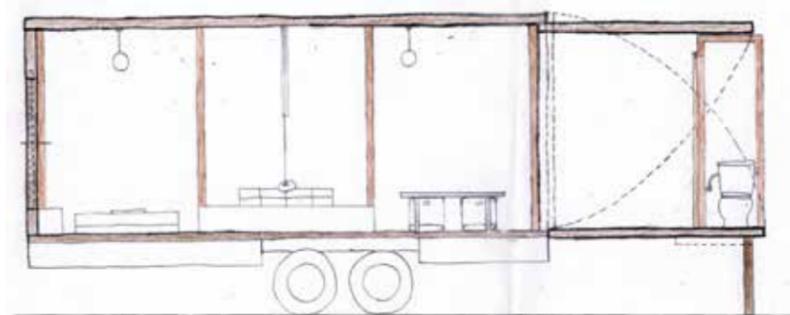
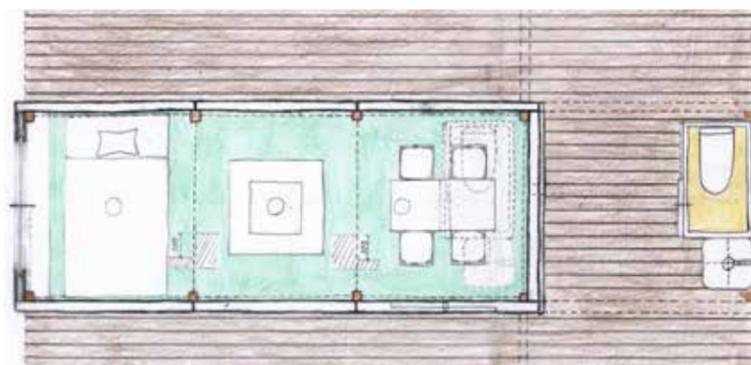
image color



suvaco.jp



kamakurawakamiya.jp

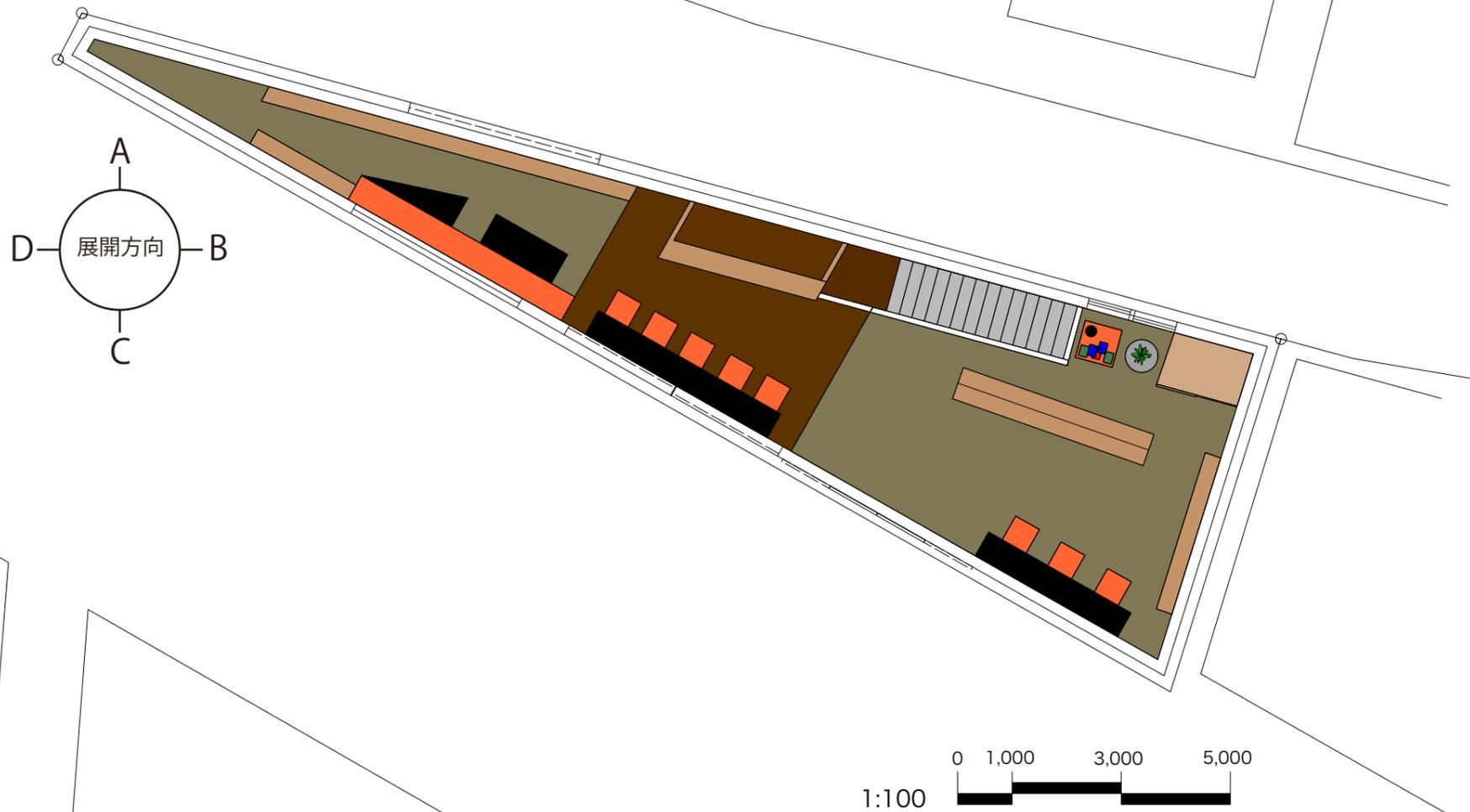


SCALE 1:30

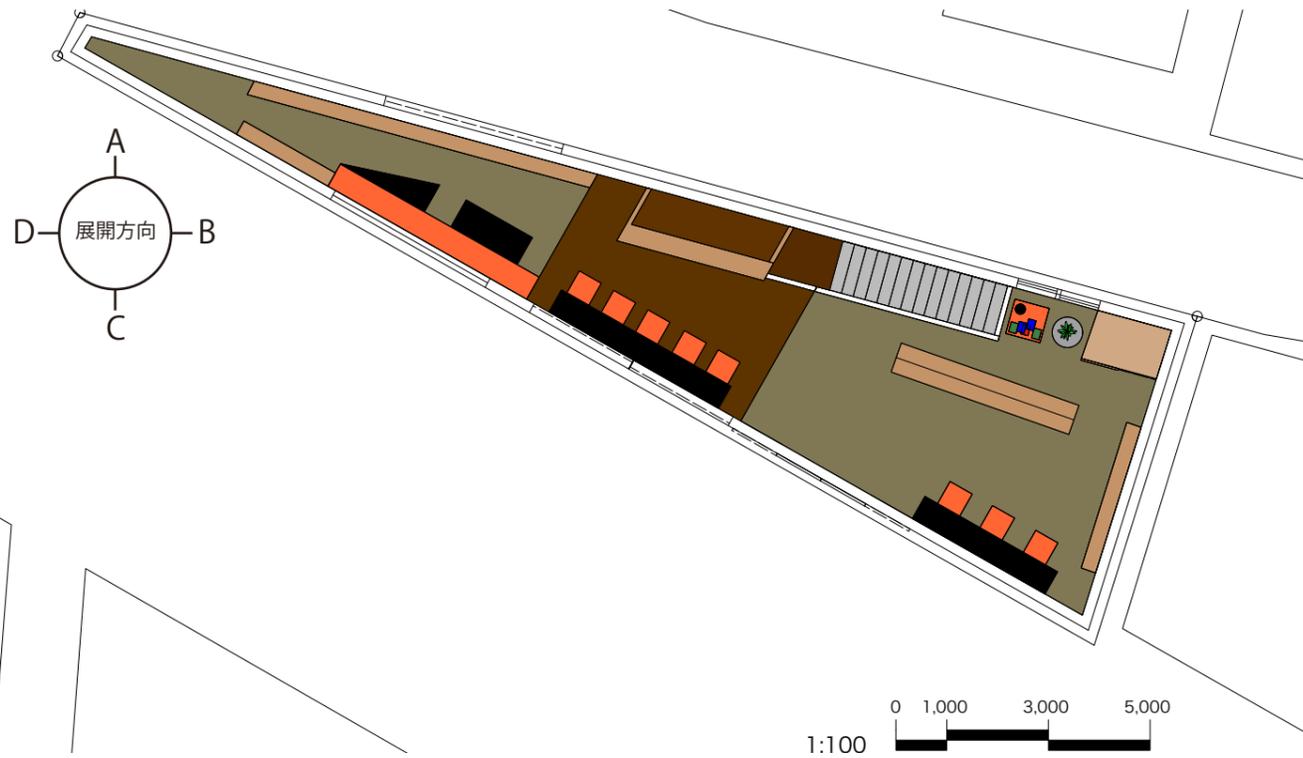


# To Find My Like

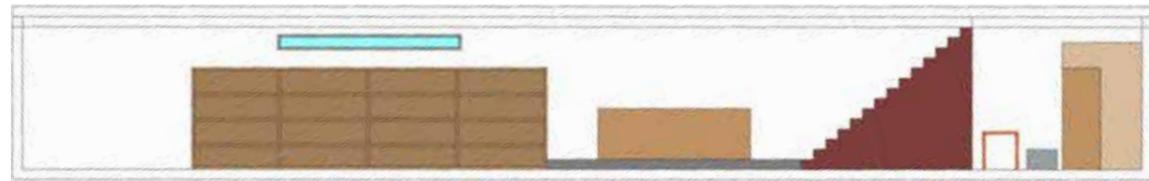
土間のある空間



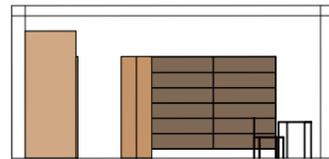
「好き」のためのカフェ



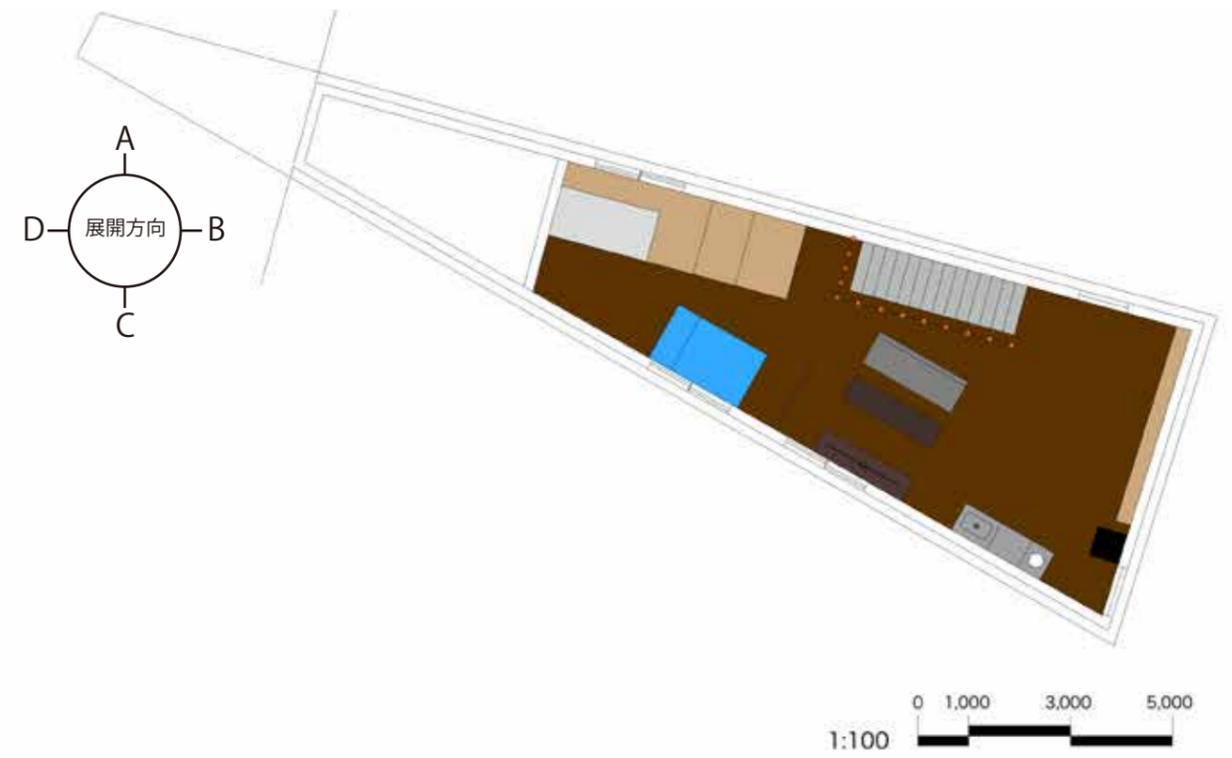
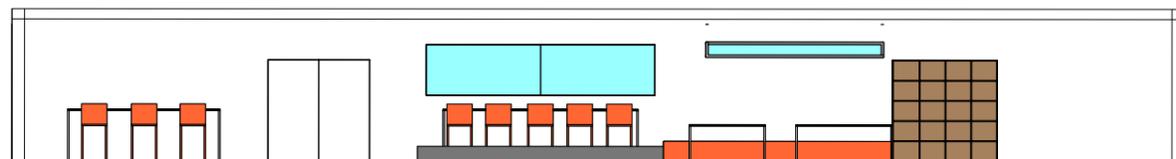
A 面展開図



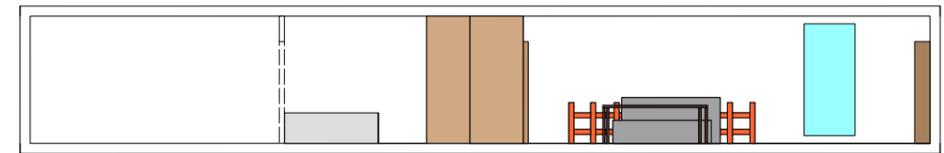
B 面展開図



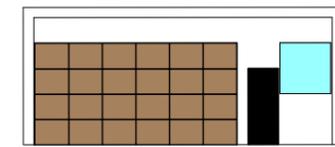
C 面展開図



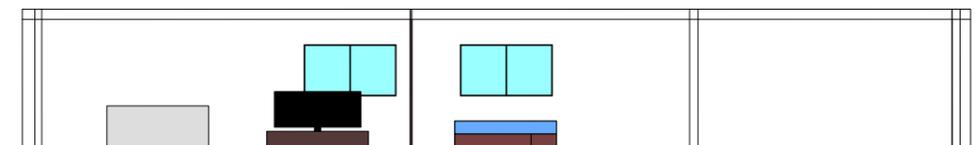
A 面展開図



B 面展開図



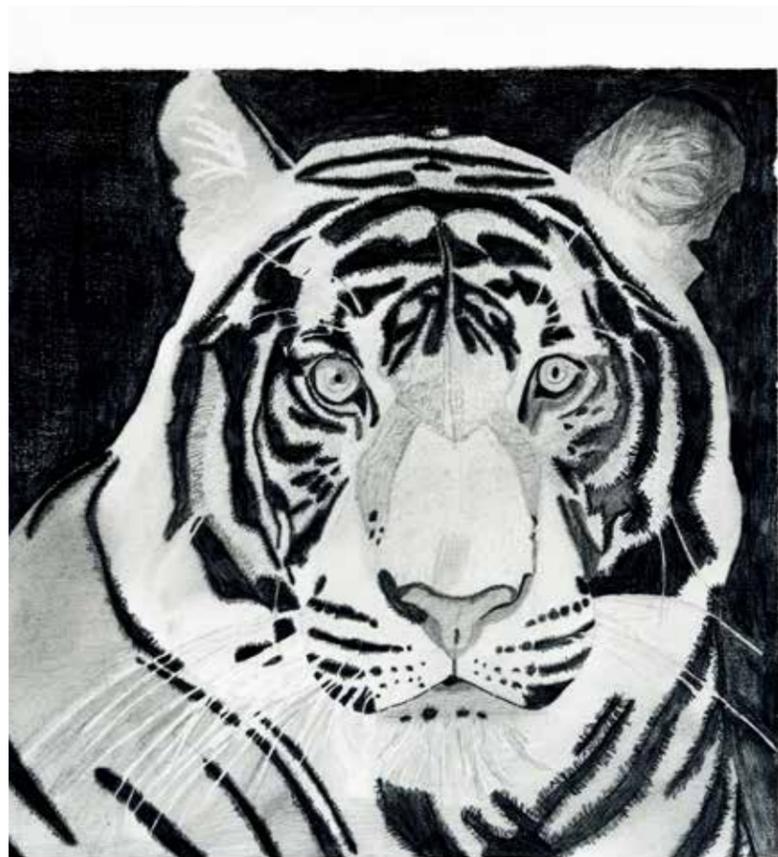
C 面展開図





# デッサン

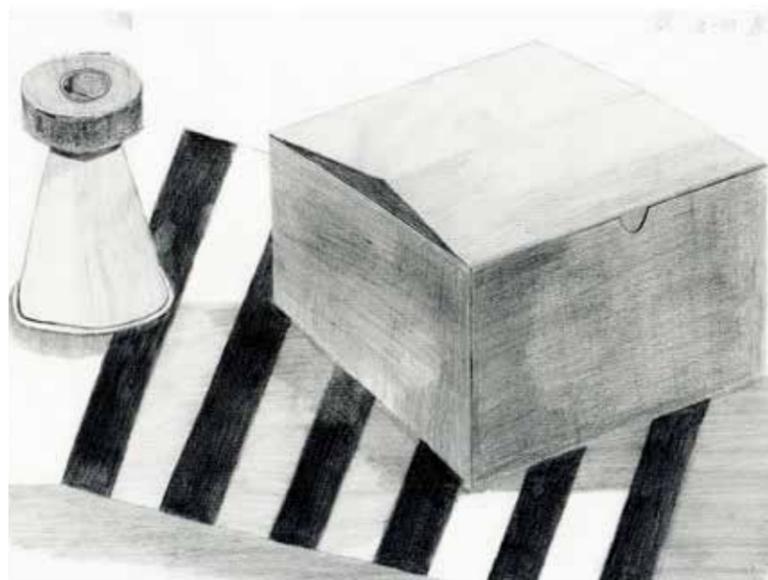
物の形、質感をとらえる



虎



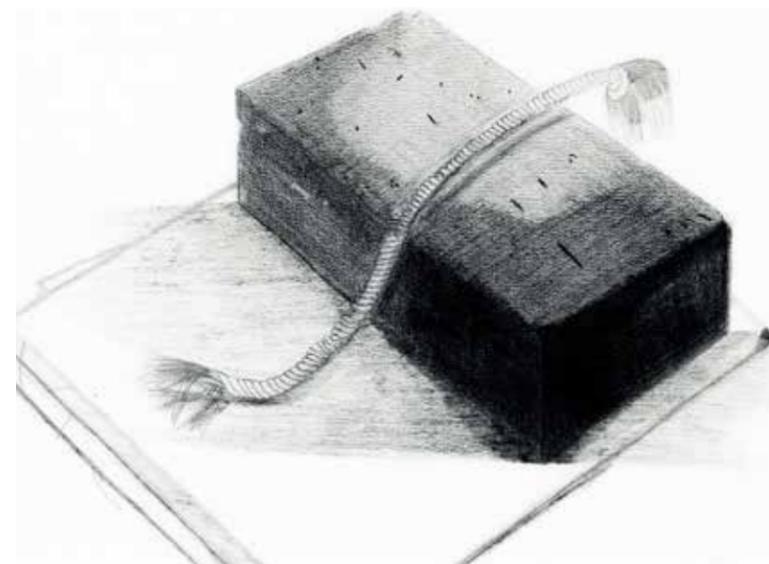
ペットボトル



箱



犬



レンガ



# 思ふ酒のBAR

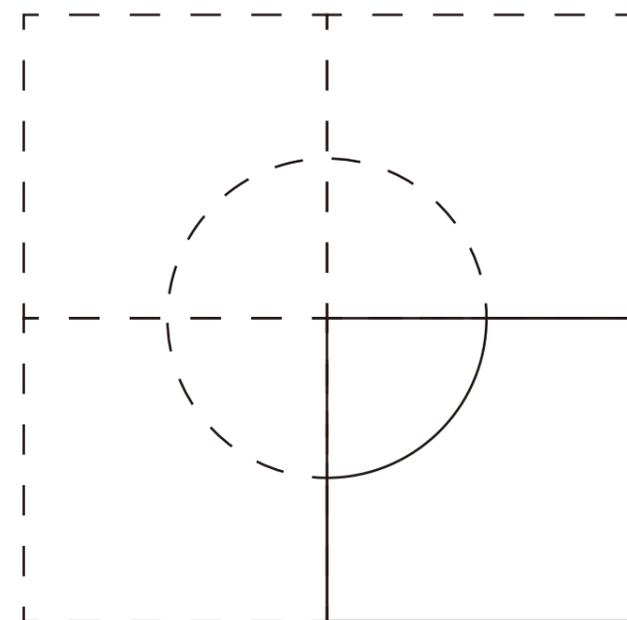
部分模型

一度行くと思い出に残る  
一人でも大人数でも楽しめる BAR



誰でも入りやすい外見にするため、外壁は明るくシンプルなデザインにしました。また窓を多く設置しているので室内の様子がわかりやすくなっています。室内の壁面はモダンでかつ落ち着いた印象になるようなデザインにしました。また、床面のダークトーンな木材の茶色に対し、ディープトーンな赤色のソファやカウンターチェアを配置することにより、落ち着いた大人な空間を演出しています。大きな円形のカウンター席とそこに並んだたくさんのお酒、奥に見える円形の棚に並んだたくさんのお酒など、印象的なものが多く一度訪れるとまた行きたくくなるような空間になるようにしました。一人でもグループでも特別な空間を楽しむことができます。

この部分模型は実際の 1/4 です。





雪小屋

小屋模型

— 温もり —



雪国の山奥にあるログハウス。  
外にはかまくらを、室内には大きめの暖炉を置き、温もりを感じられる空間をイメージしました。



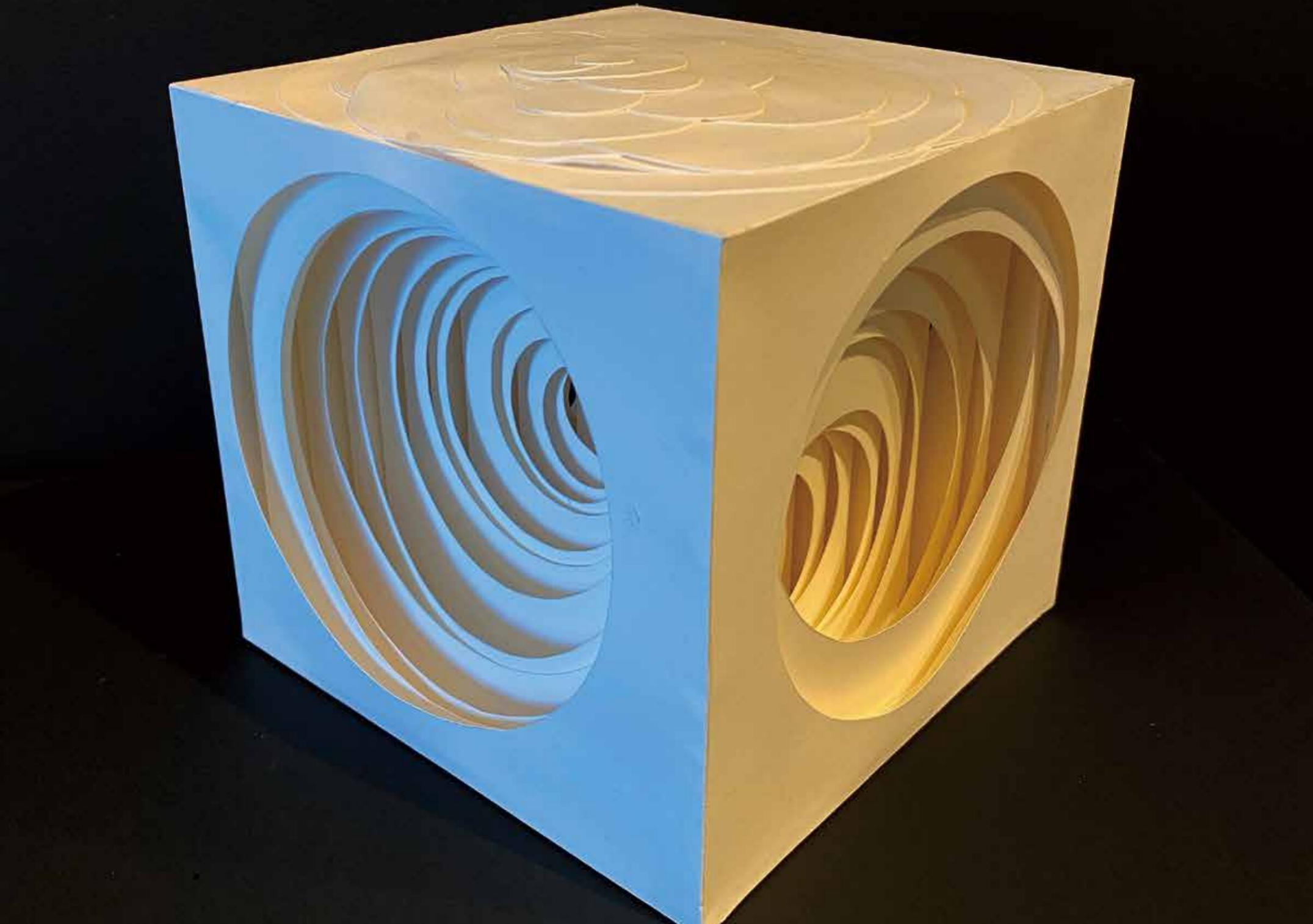
ポ  
ー  
ト  
レ  
ー  
ト

色  
面  
分  
割

— 明度差での表現 —



自分たちの顔写真を撮り、印刷したものを明度ごとに分解し、色紙を使って顔を表現しました。それにイラストレーターを使って様々なデザインを作りました。



沈潜  
紙立体

静の中の激流



水の作り出す激しい渦の流れと水が一滴ずつ落ちているような静かな様子、対極する二つの様子を一つの立方体に表現したいと思いました。タイトルである沈潜(ちんせん)には二つの意味があります。1つは水底に沈み隠れること。もう一つは心を落ち着けて深く考える、または深く没頭することです。この二つの意味はどちらも表面的には静かで穏やかですが、その内側はそうではないといった様子を表しています。今回の表現にぴったりだと思いこのタイトルをつけました。